

新田小学校の読書科について

新田小学校 学力向上委員会

1 「読書科」について

江戸川区立小中学校では、平成 24 年度から読書科を実施しています。読書科の目標は、「読書における見方・考え方※を働かせ、読書を通じた探究的な学習を通して、生涯にわたって主体的に学び続けていくための資質・能力を育成すること」です。

<※読書における見方・考え方…読書を通じて、人や社会、自然に関わる様々な事象を多様な角度から捉え、自己の考えや生き方、実社会、実生活と関連付けること。>

2 3 観点の目標

上記の読書科の育てたい目標に合わせて、以下の 3 観点の目標があります。

(1) 知識及び技能

読書から生きて働く知識を習得するとともに、資料の収集の仕方、記録の取り方を身に付けることができるようにする。

(2) 思考力、判断力、表現力等

問題を発見し、読書を通して集めた情報を整理・分析して解決するとともに、自らの考えをまとめ・表現することができるようにする。

(3) 学びに向かう力、人間性等

読書及び読書を通じた探究的な学習の良さを認識し、主体的に取り組むとともに、社会の中で積極的に学び続けていこうとする態度を養う。

3 時間数

江戸川区の定める読書科は、3 5 単位時間で行うこととなっています。(本校では、1 単位時間は 4 5 分) そのうち、2 3 単位時間程度 (1 0 5 0 分程度) が朝読書となります。他の 12 時間程度が、1 単位時を使って調べる活動などを行う授業となります。

(※詳しくは、別添の江戸川区のリーフレットを参照してください。)

4 学校図書館全体計画

新田小学校では、上記目標に合わせて、「学校図書館全体計画」を立て、学校の特色や他教科と関連した読書科の活動を行っています。

学校教育目標

よく学ぶ子
思いやりのある子
体をきたえる子

学校図書館は、教育課程の展開に寄与するとともに、児童の健全な教養を育成することを目的とする。

多くの児童が本好きで、読書量も増加しているが、調べ学習等で図書館を利用する機会は少ない。

学校図書館の目標

学校図書館の活用を通して、自ら学ぶ意欲と態度を育て、生涯学習の基礎を培う

ねらい

- ① 児童の読書意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付ける。
- ② 学び方指導を充実し、図書館活用の望ましい態度や技術を高める。
- ③ 多様な資料から目的に応じた情報を選び、課題解決を図り、情報活用能力を育成する。

指導の重点

- ① 教育課程全体を通して、計画的な読書活動と学校図書館の活用を推進する。
- ② 学校図書館を活用した教科等の学習の充実と情報活用能力の育成を図る。
- ③ 司書教諭を中核とした学校図書館教育の推進を図る。

各学年の重点目標

第一・二学年	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活や学習体験の中から疑問を見付ける。 ・興味関心に応じた様々な種類の本を読み、見付けたことや思ったことを書いたり、伝え合ったりする。 ・朝読書では、読み聞かせを通して、読書の素地形成を行う。また、読書クイズや読書発表会などを行い、児童同士の交流を図る。 	第三・四学年	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活や学習体験（見学や地域の方の話などを含む）から関連付け、疑問を見付ける。 ・百科事典や図鑑など、疑問に合わせた資料を選び、要点「情報カード」などを活用しまとめ、「思考ツール」を活用して比較・分類を行い、まとめる。 ・様々な種類の本を読む。 	第五・六学年	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人、社会や自然に関わる様々な事象と自らの経験を関連付け、解決の見通しを立てられる問題を設定する。 ・目的に応じて本を選び、必要な情報を選んで整理・分析・記録する。学習を通して学んだことや自分の考えについて表現方法を工夫してまとめる。
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

具体的な取り組み

〔各教科〕

- 図書館機能を活用し、課題解決学習、調べ学習、個別指導やグループ学習の場とする。
- 情報の収集、処理等、情報活用能力を養う。
- 読書指導を行い、読書習慣、態度を養う。

〔読書科〕

- 図書館資料を活用した探究的な「調べる学習」を行い、情報の収集の仕方、記録の取り方を身に付け、集めた情報を整理・分析し、自らの考えをまとめ、表現力を養う。

〔総合的な学習の時間〕

- 学び方や考え方を身につける。
- 課題の解決、探究に主体的に取り組む。
- 系統的に情報活用能力を育成する。

〔特別活動〕

- 図書委員会を中心に、自発的・自治的に図書館を運営し、読書活動推進を展開する。

〔道徳〕

- 図書資料を通して、様々な生き方や考え方に接する中で、自分を深め、道徳的心

〔家庭・地域との連携〕

- 読書週間による親子読書の推進。
- ボランティアや公立図書館との連携。

朝読書の推進

推進組織の確立・充実

図書館経営評価の実施

図書環境整備・充実

区立図書館・区立図書館員との連携

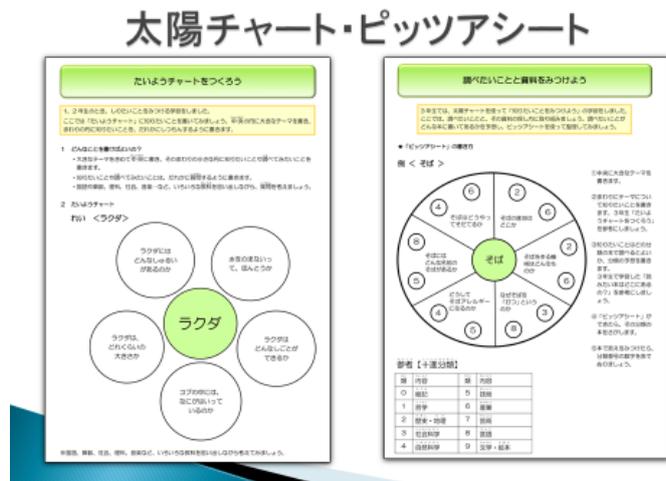
5 新田小学校の読書科（主に1単位時間を使って行う調べる活動）について

読書科の授業では、他教科の学びと関連づけて学習を進めます。また、各学年、江戸川区の出している「読書科ノート」と呼ばれるワークシートを活用します。

〔活動例〕

学年	単元名	時間数	実施時期
1年	・「生き物クイズをつくろう」	5時間	1学期
	・「しらべてつくろう！あたらしいのりもの」	7時間	2学期
2年	・「新田水族館をつくろう」	12時間	2学期
3年	・「調べて発見！〇〇のひみつ」	4時間	1学期
	・「野さい調べ」	8時間	2学期
4年	・SDGs～私たちのまち～	12時間	2学期
5年	・調べて発見！おすすめ都道府県	12時間	2学期
6年	・新田小の植物を調べよう	6時間	1学期
	・偉人に学ぶ、生き方調べ	6時間	3学期

〔読書科ノートの例〕



6 評価について

読書科の評価は、3学期の「あゆみ」において、記述式の評価を行います。
※評価規準は別添の評価規準参照。

7 新田小の学校図書館

本校では、読書科を進める上で、学校図書館の環境整備の充実を以下のように取り組んできています。

- ・児童が本を取りやすいように、ブックスタンドを配置しています。
- ・図書館司書が2週に1回のペースで来校しておりますので、各学年の読書科の内容や行事に合わせて、おすすめの本のコーナーをつくっています。



手作りのブックスタンドもあります。児童が本を手に取りやすい環境をつくっています。



図書館司書さんが選んだ本は、すぐに借りられてしまいます。(写真左側のコーナー)

また、新田小学校のよさは、紙芝居が多数そろっていることです。開校当時に買った紙芝居が、たくさん残っています。令和3年度に、大幅にリニューアルし、新しい紙芝居を入れています。紙芝居は、教員の読み聞かせにも活用しています。

紙芝居は、日本の文化にもなっていますので、今後も大切にしていきたいと思います。



8 保護者の皆様へ

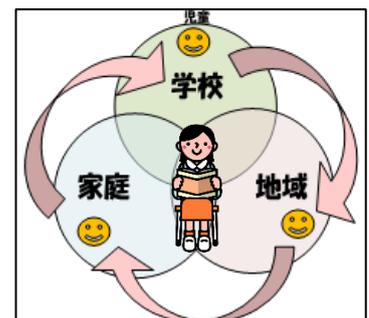
読書を通じた探究的な学習は、学校・家庭・地域の連携がとても大切です。

学校図書館だけでなく、家の本棚に子供の成長に合わせて、本を入れ替えてみたり、西葛西図書館などの区立図書館に足を運んだりすることもまた大切です。他にも、江戸川区立の図書館では、「調べる学習コンクール」を実施しています。学校で調べたことの続きや自分の調べたいことをさらに調べて応募することも可能です。

児童が楽しく生涯にわたって本に親しむことができるよう、ご協力をよろしく申し上げます。



西葛西図書館



みんなで広げる、読書の輪